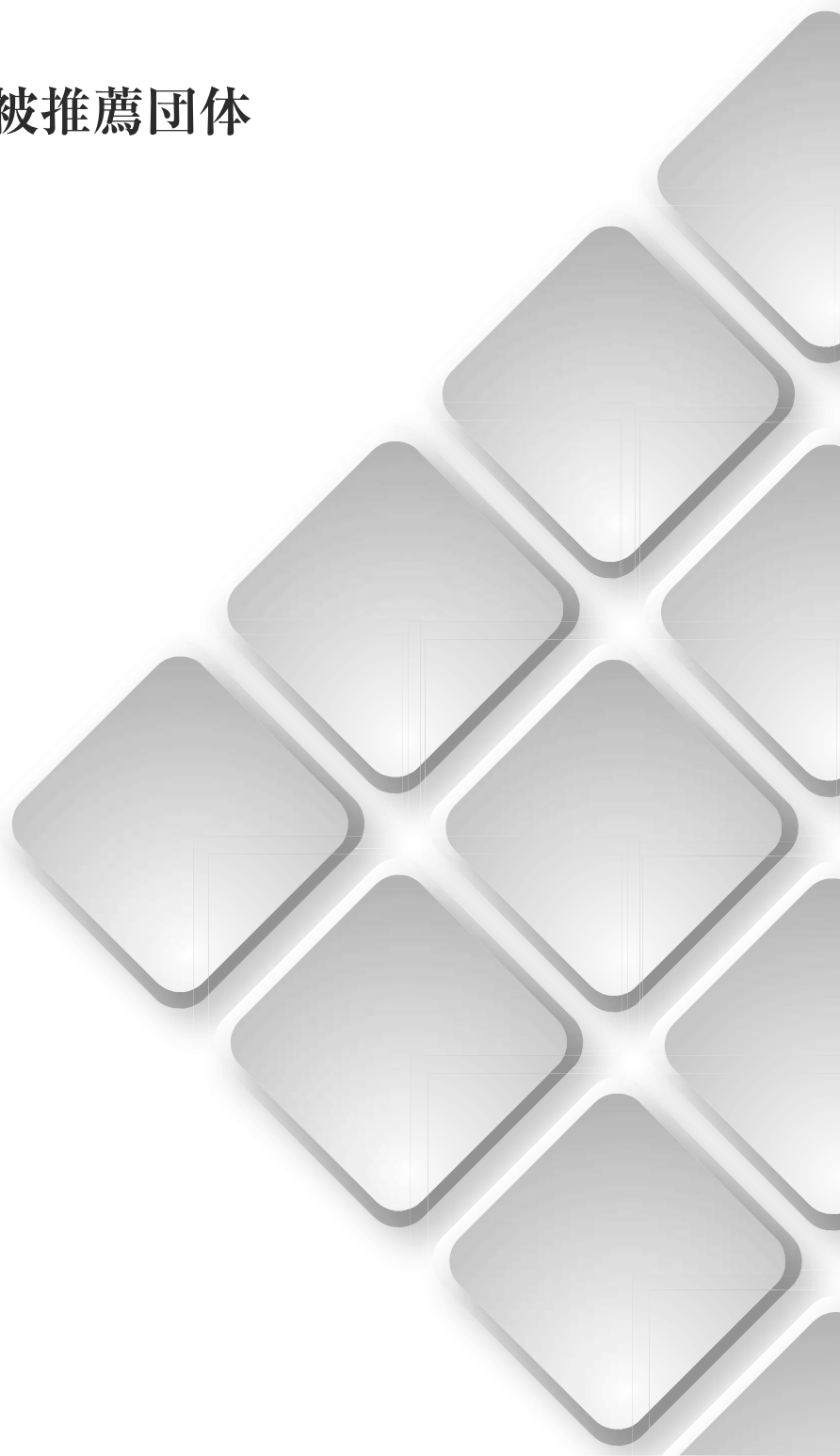


# ■ 活動事例

## 2 被推薦団体



## 「鹿児島市レクリエーション指導者協会」

鹿児島市日之出町4-1-13

代表者：山下 一郎

### 『協会のあゆみ』

昭和55年6月、志を同じにするメンバーが集まり、協会が設立されました。平成11年度から「レクリエーションセミナー」としてダンス、ソング、ゲームを取り入れた年10回の講座を実施。

平成14年には「福祉レクリエーションセミナー」に変更して対象は福祉関係のセミナーに絞り実施。

当初は従来同様、年10回講座で実施していましたが平成19年度から年3回とし、内容をより充実した講座として実施しております。現在の会員は61人、うち幹事22人でセミナーを企画、運営しております。



### 『活動の目的』

鹿児島市内のレクリエーション関係の指導者をもって構成し、相互の親睦と資質向上を図ると共に、レクリエーション活動の健全な普及発展に寄与することを目的としております。近年、心の豊かさや仲間との楽しい交流を深めるレクリエーション活動は、益々関心をもたれてきており、特に高齢者や福祉の分野では、健康作り、心のケア、仲間作りの手法として積極的に取り組まれてきております。

### 『主な活動内容と成果』

#### ①福祉レクセミナー

福祉施設のヘルパー、介護士、看護師、レク資格取得勉強中の人、専門学校生、レクに関心のある人を対象としており、年3回、うち2回は県外講師に依頼しております。特に県外講師になるとさらにバラエティーに富んだ勉強ができ、参加者は100人を超える盛況です。福祉の現場では、レクリエーションは日常の中にあり、新しいレク財を



◆事例発表（被推薦団体）◆

求めて参加されております。レク財を自分達で考える時間、余裕がなく、私共の「今日からでもすぐに使えるレク財」を求めているのです。平成18年までは、年10回、福祉関係に限らず、病院、小学校、職場でも活用できるレクリエーションの指導を実施してきました。県内でも益々高齢化率が高まり、高齢者に的を絞った福祉関係の人達のニーズに少しでも応えられるように、私共も日夜研修しております。

②あそびの城

小学校2校で実施しており、月曜日は40人前後、木曜日は70人前後の参加があります。文部科学省は学校に依頼していますが、現場の先生方は忙しく、なかなかレクリエーションまでは手が回らないようです。そこで、私共が学校の放課後に子供達と一緒にレクリエーションをして、「子供達の安心・安全な居場所づくり」に一役買っております。今では、子供達、先生方、保護者にも「あそびの城」は浸透してきております。



③あそびの日・全国一斉ウォークラリー

鴨池運動公園周辺で毎年5月に実施します。今年は25回目となり、参加者は300人前後に上ります。

④あそびの日・キッズウォークラリー

鹿児島アリーナ周辺で、毎年、子供の日の5月5日に実施しており、今年で6回を迎えました。鹿児島アリーナとタイアップして参加者は100人前後です。

⑤たこあげ大会、たこ作り

昨年からは健康の森公園とタイアップし、従来より親子連れ、おじいさん、おばあさんの参加も増えつつあります。参加者は150人前後で毎年1月に実施します。

⑥レクリエーションの依頼に対しての講師派遣

福祉関係、町内会等高齢者の集い等に、要請により講師の派遣を実施しており、年間を通して活発に動き回っております。